

## 3年間でつきたい力

学習の基盤となる資質・能力 <言語能力>	現実的な諸問題に対応し求められる資質・能力 <自分づくり>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語の面白さへの気づき</li> <li>○ 事実を解釈し自分の考えを形成する力</li> <li>○ 感じたことを言葉にする力</li> <li>○ 身近な語彙の豊かさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢</li> <li>○ 自己肯定感</li> <li>○ 他者の考えや思いに対する受容性</li> <li>○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力</li> </ul>



3 観点	目標
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 評価資料について

評価資料	説明	資料とする観点		
		知・技	思判表	主体
授業での 言語活動 (*5領域)	日常的な英会話や、単元で身に付けるべき言語材料を使いながら教師とのやり取りや生徒間のペアワークを行い、文法などの正確さや、よく聞き、伝えようとする姿勢などを評価します。	◎	◎	◎
振り返り 感想シート (*5領域)	生徒が記入した授業の振り返り等を参考にし、学びに向かう姿勢、主体的に取り組む態度を評価します。自己の取組を振り返ります。自分の学習を調整する力を評価します。 例) テストの振り返りレポート、表現活動の振り返りシートなど			◎
提出物	新たな言語材料のまとめと、長文読解等の練習として活用します。毎授業後や定期試験前などに提出し、理解度を評価します。 例) ノート、ワーク、単語練習プリント、など	○	○	◎
表現活動 話すこと [発表]	テーマを決め、原稿作成から発表までの流れを評価します。学年の課題に応じて行われます。 例) スピーチ、音読、Show & Tell、プレゼンテーションなど	○	◎	◎
表現活動 話すこと [やり取り]	テーマを決め、コミュニケーションのやり取りを評価します。学年の課題に応じて行われます。 例) AET との対話テスト、ディベート、ディスカッションなど	○	◎	◎
小テスト・定期試験 聞くこと・ 読むこと	語彙力などの到達度を評価します。まとまった英文を聞いたり読んだりし、その内容を正確にとらえる力を評価します。 例) 単語テスト、リスニングテストなど	◎	◎	◎
小テスト・定期試験 書くこと	他者に的確にわかりやすく伝える力や、言語の正確性を筆記試験の形で評価します。 例) 記号問題、英作文問題（資料を読み取り、考えを書く）	◎	◎	◎

※5領域とは

聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと、のことです。

3観点の評価はそれぞれの領域ごとに評価していきます。